

『センター長のコラム』 第33回

今号でお知らせのとおり、センターでは今年度の盲ろう者通訳・介助員養成講座の開講に向け、受講者の募集をスタートしました。

みなさんの中には盲ろう者と交流した経験のない方、どのような介助が必要なのかイメージしづらい方も多くいらっしゃると思います。「盲ろう」という言葉から、「まったく見えず、まったく聞こえない」と思われる方も多いと思いますが、少し見える方、少し聞こえる方もおり、その程度はそれぞれで異なります。そして、地域での生活や社会活動の中で盲ろう者が特に困ることは、「コミュニケーション」「情報収集」「移動」の3つです。それらをサポートする人材が欠かせません。

みなさんもぜひ、養成講座の受講をご検討ください。

♪ 『令和5年度盲ろう者通訳・介助員養成講座』の受講者を募集しています！

この講座では、視覚と聴覚の両方に障がいがある方（盲ろう者）に、情報の提供やコミュニケーション支援、外出時の移動介助をする盲ろう者通訳・介助員を養成します。**申込締切6/13（火）**

◆募集コースおよび応募条件

- ＜パソコンコース＞ 要約筆記奉仕員または要約筆記者養成講座のパソコンコースを修了した方
- ＜手話コース＞ 手話で会話ができる方
- ＜点字コース＞ 点字の読み書きができる方

◆対象者

- ①全日程の80%以上出席できること。
- ②18歳以上であること。
- ③講座修了後、県の登録盲ろう者通訳・介助員として活動する意志があること。

◆募集定員

全コース合わせて10名 【面接日：6/25（日）】
※面接により受講可否を決定します。

QRコードを読み取ると、
詳しい募集要項&申込書が見られるよ♪
(応募の際は申込書だけ郵送して下さい)
センターのHPからもダウンロードできます



♪ 日常生活用具の貸出について

センターでは聴覚障がい者の生活をサポートする日常生活用具の貸出を行っています。購入前に自宅で試しに使っていただくほか、地域の学校の福祉体験で子ども達に体験してもらうなど、さまざまな使い方が可能です。貸出は無料です。興味のある方はぜひセンターまでお問い合わせください。



珍しい機器に子ども達は
興味津々！



さまざまな機器を取り揃えています。

三重県聴覚障害者支援センター

三重 聴覚

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目131 三重県社会福祉会館5階
FAX (059) 223-3301 / TEL (059) 223-3302
http://www.deaf-mie-center.com/ e-mail: deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp
□利用時間 午前8時30分～午後5時 □休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

LINEでも→
配信しています



字幕映像ライブラリー NEWS

今回のおすすめ作品

『文字の獲得は光の獲得でした～作家 柳田邦男が読む いのちの手記～』

NHKとNHK厚生文化事業団が主催する「NHK障害福祉賞」には、身体障害や精神障害などと向き合う人々から半世紀にわたり1万3千以上の手記が寄せられてきた。長年、この賞の選考委員をつとめてきた作家 柳田邦男さんは、それを「人間理解の宝庫」という。そこには苦悩や偏見を乗り越え人生を切り開いてきた人々の真実の言葉がある。番組では柳田さんとともに過去の受賞者4人を訪ねる。人生に立ちはだかる壁を「文字で表現すること」を通して越えてきた人々の体験から、私たちは何をくみとることができるのか。

🎬 出演：柳田国男・夏子

📺 2021年・NHK厚生文化事業団・49分



ご自宅から、作品の貸し出し申込みや返却ができます。

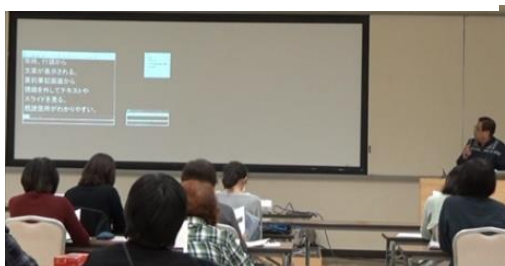
- ①三重県聴覚障害者支援センターの利用者登録をします（既に登録済みの方は手続きは不要です）。
 - ②「字幕入り映像ライブラリー借受申込書」に必要事項を記入し、支援センターに提出してください（郵送・FAX・メールでOK）。
 - ③貸し出しは、1人1回3巻（枚）まで。
 - ④手渡しでの貸し出しが原則ですが、郵送を希望する場合は、郵送による貸し出しも行っています。
 - ⑤貸し出し期間は2週間まで。郵送による返却もOKです。返却時の郵送料はご負担ください。
- ☞当センターホームページに、申込書や作品リスト、動画『字幕入り映像ライブラリーの利用について』を掲載していますのでご覧ください。

♪ 令和5年度第1回要約筆記者現任研修を開催しました！

◆◆◆手書きコース◆◆◆



◆◆◆PCコース◆◆◆



4月15日（土）雨の降るなか、三重県社会福祉会館において表記研修を開催しました。

「みんなで学ぼう～派遣現場に出る前に知っておいてほしいこと～」と題した年度初めの研修は、試験に合格し新たに登録をされた方にはテーマのとおり導入研修として、そして、先輩筆記者のみなさまには現在の養成講座の学習内容を確認することで、新規登録者がどのような学習をしてきたのかを知っていただく機会として企画をしたものです。要約筆記者研修班及び派遣事業検証班、三重県要約筆記者養成講座講師団が講師を担い、初めての企画に試行錯誤しながら当日に向けて準備を重ねました。

当日は手書きコース16名、パソコンコース16名が参加するなか、新規登録者の紹介、当事者からの話、実習など盛りだくさんの時間となりました。実習ではチームに分かれて研修を進めることで、新人さんと先輩との交流も深まりました。この流れで現場でのチームワークがスムーズになることを願っています。